

しあわせ信州創造プラン2.0  
北信地域計画

ふるさと  
「雪とともに育む 豊かな故郷 北信州」



長野県北信地域振興局



一本木公園 (中野市)



菜の花公園 (飯山市)



志賀高原 (山ノ内町)



馬曲温泉 (木島平村)



道祖神祭り (野沢温泉村)



天池 (栄村)

# 北信地域の特性

北信地域は中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村の6市町村からなる長野県の最北端に位置する地域です。自然豊かな日本の原風景が残るこの地域は冬の最深積雪が2mを超える全国有数の豪雪地帯としても知られています。

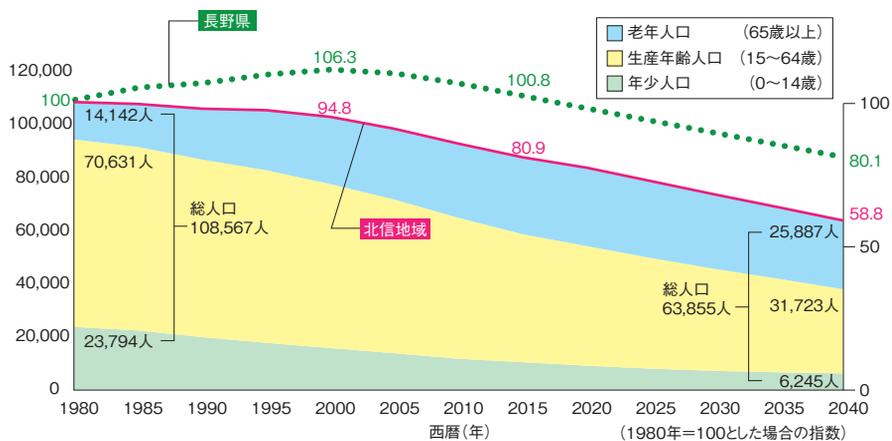
この地域は、農業と観光が基幹産業となっており、県内有数の米・果物・きのこの産地であるとともに、志賀高原や斑尾高原など雄大な自然環境、湯田中渋温泉郷や野沢温泉など豊富な観光資源に恵まれた県内有数の観光エリアとなっています。

## 北信地域を取り巻く状況

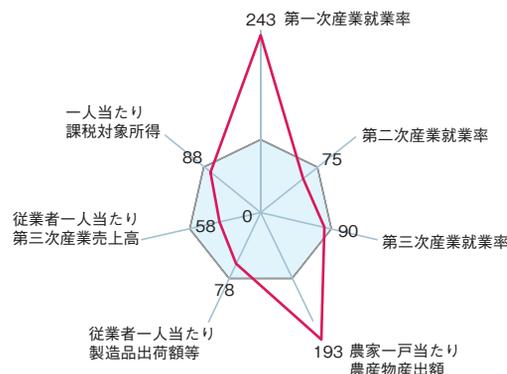
人口については、県全体が2000年をピークに減少傾向にある中、北信地域は1980年以降、一貫して減少しています。また、年少人口と生産年齢人口は県平均を上回る減少率となっており、1980年と比較した2040年の年齢構成割合は、老年人口が約2倍（全人口の約40%）、生産年齢人口は約5割（全人口の約50%）、年少人口は約3割（全人口の約10%）と推計されています。

産業については、第一次産業の就業率や農家一戸当たり農産物産出額が県平均を大幅に上回っている一方、第二次・三次産業の就業率や売上高等は県平均を下回っています。

## 人口の推移と年齢構成



## 産業関係データの比較



## 北信地域の産業別就業率

